

リニモ芸大通駅・陶磁資料館南駅周辺活性化調査(概要版)

平成24年3月
愛知県地域振興部

調査の目的

リニモ沿線地域においては、駅周辺での土地区画整理事業が進められている、もしくは予定されている長久手古戦場駅や公園西駅など、今後の面的開発によって賑わいが生じると見込まれる駅がある一方、芸大通駅や陶磁資料館南駅のように、面的な整備が見込まれず、現状でも賑わいが少ない駅が存在する。

こうした状況の中で芸大通駅と陶磁資料館南駅に着目し、それらの駅の利用者や周辺施設の状況等を把握した上で、駅周辺を活性化させる具体的な賑わい創出の手法を提案するものである。

賑わい創出の方向性

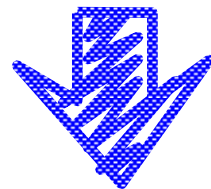
< 1 芸大通駅 >

特性

- ・ 県芸大、トヨタ博物館といった施設が立地。
- ・ 周辺は市街化調整区域。定住者が少ない。
- ・ 駅利用者の大半は、県芸大や栄徳高校への通学者。
- ・ リニモを利用するトヨタ博物館への来場者は、少ない。
- ・ 駅周辺には、未利用の県有地がある。

課題

- ・ 駅や周辺には、芸大通という名称に見合った特徴がない。
- ・ 街路灯の数が少ないなど、歩行者の安全面でも課題がある。
- ・ コンビニや飲食店等といった、リニモ利用者の利便に供する施設がない。
- ・ トヨタ博物館の最寄駅が、芸大通駅であることはあまり浸透していない。



導き出される方向性

- ・ 賑わい創出に向けては、市街地整備を図ることが有効だが、長い期間と多額の事業費が必要。したがって、本調査では、周辺の施設と連携した賑わい創出について検討。
- ・ トヨタ博物館への訪問には、リニモ（芸大通駅）が便利であることの周知を図る。
- ・ 駅及び駅周辺、さらには県芸大までの道路（芸大通り）の整備を検討。
- ・ それら整備された施設を活用したイベント等の取組について検討。
- ・ 県芸大の魅力（コンセプト、人材、ノウハウ等）を最大限活用。

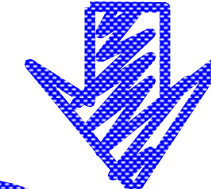
< 2 陶磁資料館南駅 >

特性

- ・ 陶磁資料館と「知の拠点あいち（あいち産業科学技術総合センター）」がある。駅の南には、リニモ本社（車両基地）があり、イベント開催に利用。
- ・ イベント開催がリニモ利用者の増加、沿線施設への集客に貢献。
- ・ 周辺に開発適地がみられないため、市街地整備は難しい。

課題

- ・ 日常の通勤・通学によってリニモを利用する施設が少ない。
- ・ 陶磁資料館への来場者のうち、リニモを利用する来場者は少ない。
- ・ 駅から陶磁資料館までの導線には、リニモ利用を促すための仕掛けや工夫が乏しい。



導き出される方向性

- ・ 定住人口の増加や通勤・通学者の増加は難しく、陶磁資料館や「知の拠点あいち」へのリニモを利用する来場者を増やす他は無い。
- ・ 「知の拠点あいち」は、研究施設であることから、一般来場者の増加には限界がある。
- ・ 陶磁資料館へのリニモを利用した来場者を増やす取組について検討。
- ・ 駅から陶磁資料館までの導線を魅力あるものとする施設整備等について検討。
- ・ 陶磁資料館の庭園や芝生広場等を活用した集客イベントについても検討。
- ・ 陶磁資料館南駅を着駅としたリニモウォーキングを引き続き実施。

賑わい創出に向けた取組の提案

< 1 芸大通駅 >

○取組提案 1-1

「芸大通駅構内の魅力アップ事業」の推進

県芸大生による創作発表の場を芸大通駅構内に提供。駅舎空間にアート感あふれる装飾を施す。

イメージ

駅舎内南側ガラスのステンドグラス化



駅舎内コンコース南面には、ガラスが施され、陽光が降り注いでいる。そのガラス面を利用し、ステンドグラスのような装飾を施すことにより、駅舎のアート感を盛り上げる。



○取組提案 1-3

「芸大通駅利用者のための休息スペース」の整備

駅周辺の県有地（グリーンロード・リニモ高架下）にテーブルやベンチ等を設置し、待ち合わせや休憩のためのスペースを確保。

小さな飲食売店等を誘致し、学生・生徒を中心とした駅利用者の利便を高める。

イメージ



諸外国に見られるキオスクや移動販売車など、コンパクトな飲食売店の展開が求められる。

○取組提案 1-2

「芸大通り（芸大通駅～県芸大）のプロムナード（散歩道・遊歩道）化」の推進

芸大通駅から県芸大までの「芸大通り」を、その名前に相応しい芸術的なプロムナードとして整備。

イメージ

プロムナードを主体とした駅周辺環境整備

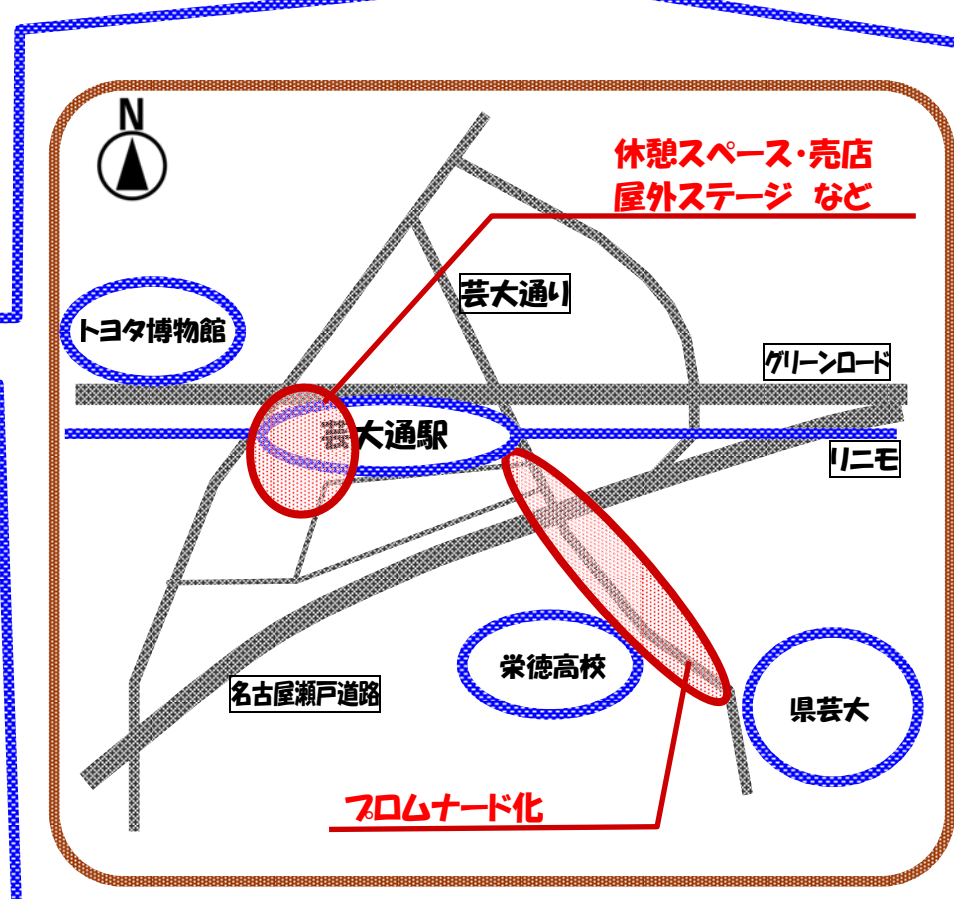


インスタレーションの手法を用いた空間演出



インスタレーションとは・・・

美術の領域では、画廊、もしくは屋外の任意の空間に彫刻や立体、あるいはそのほかの事物を据え付けることによって、重層的な「意味空間」を生み出す行為をさすことばとして用いられている。(小学館「日本大百科全書」抜粋)



○取組提案 1-4

「芸大通駅周辺における情報交流の場及び屋外ステージ」の整備

駅周辺の県有地（グリーンロード・リニモ高架下）に、県芸大と地域をつなぐ情報交流の場（駅前サテライト）や屋外ステージを整備。

公開講座やロビーコンサートなどの催しが定期的開催。芸大生のみならずアート好きな多くの人々によって活用。

イメージ

県芸大と地域をつなぐ情報交流の場の整備



ステージの整備



限られたスペースを有効に活用するとともに、一体的に整備することでコンパクトな駅前の拠点が生れる。運営には、地域住民の協力を得ながら、新たな駅の顔を作り上げる。

<2 陶磁資料館南駅>

○取組提案2-1

「陶磁資料館南駅から陶磁資料館へつながる歩道について、プロムナード（遊歩道・散歩道）化」の推進

駅から陶磁資料館へつながる歩道に、陶磁器を主体とした作品展示を充実。駅側のプロムナード入口付近やプロムナード途中の未利用地に、リニモからも認識できる陶磁資料館行きのサインを強調。

一般のリニモ利用者や「知の拠点あいち」への来訪者にも陶磁資料館への最寄駅だと訴え、陶磁資料館への立ち寄りを促す。

イメージ

プロムナードを主体とした駅周辺の環境整備



○取組提案2-2

「プロムナード周辺におけるポケットパーク（小さな公園・休憩所）」の整備

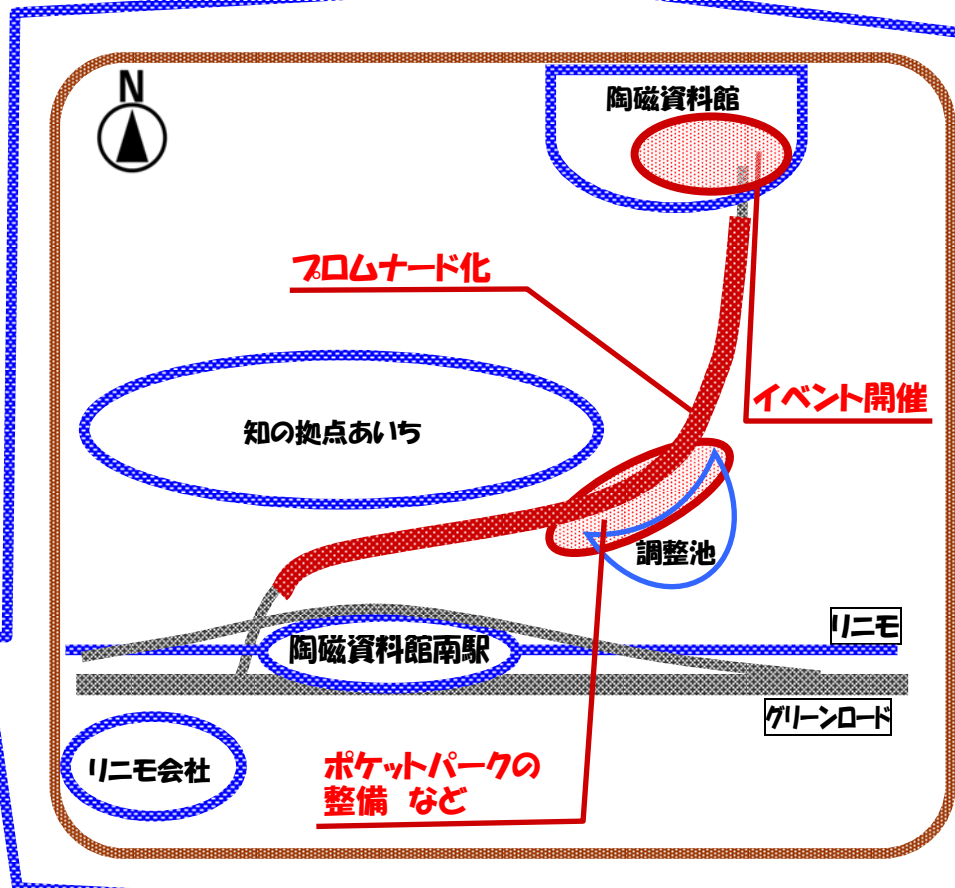
プロムナードに面する調整池横の未利用地に、パーゴラ（あずまや）・テーブル・ベンチなどを整備。

プロムナードの途中にポケットパークを設けることで、徒歩での移動に快適性を加える。また、「知の拠点あいち」を眺めるスポットとして、人々が立ち寄る場所を創出。

イメージ



パーゴラ（あずまや）・テーブル・ベンチなどを整備し、人々が賑わう場所を創出する。



○取組提案2-3

「ポケットパーク周辺を活用した陶磁器売店、日本酒試飲会等」の設置・開催

プロムナード、ポケットパークを活用し、陶磁器売店の設置やフリーマーケットなどを開催。新作陶磁器（猪口）による日本酒の試飲会等も併せて開催し、アルコールを提供することで、リニモ利用者の増加につなげる。

陶磁にちなんだ品物を中心にした売店の設置やフリーマーケット等を開催し、これまでこの地域を訪れたことのない人々の集客を図る。

イメージ



○取組提案2-4

「陶磁資料館南館周辺の芝生広場や駐車場を活用したイベント」の開催

陶磁資料館南館周辺の芝生広場（約 1,500 m²）や駐車場（約 2,000 m²）を活用し、薪能をはじめとした伝統芸能を上演。

また、ポップカルチャーをテーマにしたイベント（コスプレ大会等）を開催するなど、多彩なイベントを企画。

陶磁資料館がもつ雰囲気をもつ多面的に活用し、従来にとらわれない層からの集客を果たす。

イメージ

